30日に開催されました。 座と交通安全教室が、

申請書を提出す

一強かった消費生活講 上 国府サロンで要望が

空き店舗や空き家を活用した創業を応援する「そうじゃ商人 (あきんど) 応援事業」。 物件を改修して新たに事業を行う創業 者に対して、予算の範囲内で補助金を交付しています

このコーナーでは、事業を活用して市内で創業した事業所を 紹介します。

申請先・問い合わせ 人口増推進室 (☎²⁾ 8308)



No. 2

住所 門田206-3 営業時間 午前9時から午後6時まで 定休日 水曜日、第3日曜日

「子育て世代が住みやすく、公共交通の整備と充実した施策により人口増 加と企業誘致が進んでいる総社市がさらに元気になるように」と、岡田智 直さん真理子さん夫婦が創業を決意。福祉分野と不動産分野で培ったノウ ハウを生かした不動産屋です。

障がい者や高齢者の入居体制の支援や空き家探しなど、物件の有効活用 などにも積極的に取り組んでいます。

平成28年から、天満屋ハピータウンリブ総社店の南で営業しています。



株式会社岡田屋



夢の家縁(えん)

住所 総社一丁目 14-24 営業時間 午前 10 時から午後 3 時まで 定休日 土・日曜日、年末年始

地域の高齢者が集える場として、総社商店街筋に昨年オープンした「夢 の家緑(えん)」。介護保険を利用しない街角サロンです。

福祉分野で長年経験を積んだ専門スタッフへ悩み相談ができ、セカンド ライフを自分らしく暮らしていくため、運動や趣味を楽しみに通う人が増 えています。

代表の宮川晴美さんは、「健康なときから介護予防を意識した生活習慣を 身に付け、人と人とのつながりを大切にしてもらいたい」と活動しています。

消費生活

ワンポイントアドバイス ~消費生活に関するよくある事例にお答えします~

「お試し」のつもりが「定期購入」に

「初回お試し価格 500 円」というインターネット広 告を見て、サプリメントを注文しました。1回だけの つもりでしたが2回目の商品が届き、初めて定期購入 契約だと知りました。 販売会社に 2回目以降の解約を 申し出ると、2回分の商品代と返品送料を請求されま した。広告では、定期購入とは分かりませんでした。

通信販売ではクーリング・オフ制度はありません

通信販売は、自ら選んで購入したことになるため、 広告に表示された解約や返品の条件に従うこととなり ます。ただし表示がない場合は、商品が届いてから8 日間以内であれば、送料は消費者負担で返品が可能で す。定期購入と知らなかった、効果がないなどの理由 で、解約・返品できるとは限りませんので、注意して ください。



消費生活相談員からの ワンポイントアドバイス

- ・定期購入が条件になってないか
- ・定期購入期間内に解約・返品などが可能か
- ・解約の申し出先や解約方法など、

契約内容や解約条件についての表示 を確認し、慎重に判断しましょう。

不安に感じたり対処に困ったら、市消費生活 センターにご相談ください。

問い合わせ

市消費生活センター (☎9)8527、交通政策課内)



寸劇で詐欺の手口を理解する

その地区の人は、

ません」「必要ありません」 断ります」 交通安全教室では、 また、 必ず誰かに相談できれ 詐欺ではないかと思っ 勇気を出して言える 声に出して「要り 怪しいと思った と練習しまし 何かおか

も分かりやすく大変参考に

かとうございま-

また

消防団分団長の皆さん

震災時の緊迫した様

会があれば、

利用させて

いと思います

(北国府サロン生)

消防団活動への熱い思いを 子や体験から見えた課題と

聴くことができま

した。

劇で紹介してもらい、

の手口を面白おかしく寸

で考え、 相馬市の被災者の防災意識 織との意見交換を通じて、 や地元消防団、 団は震災前から、 の高さを痛感しました。 を行っていました。 ある地区の自主防災自衛 防災視察研修に参加しま 被災地復興状況視察 月27日・28日の2日 自主的に防災訓練 福島県相馬市で 自主防災組 自分たち

助けることができます。 分で守ること。 がないと思わず、 て助かることで周りの 難すること。 消防団としてできること 津波はここまで来るはず 自分の命は自 まず、 早めに避 人を

強になりま も楽しく内容も分かりやす やすく説明してもらい、 しぶりに頭の体操になったりの楽しい時間でした。久 講師の人は、 中で交通状況など分かり ちょっとド 大変上手でした。 大好評でした。 笑いあり、 寸劇の説明 拍手あ あり

のが、何より良かったです。 るだけで簡単に申し込める

消費生活講座では、

日ごろの訓練の重要性

顕彰碑前で被災者を悼む

そうじゃ特産商品シリーズ3点セットが当たる

内容で心が痛みました。

淡々と語っておられました

想像もつかないほどの

今月の『広報そうじゃ』を 読んで、次のクイズに答えて ください。

Q 11月定例市議会にお いて、災害時に総社市民の安 全確保を優先的に行うことを

目的に制定された条例は、「災害●●●●条例」。

【応募方法】はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、 市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。 正解者のなかから2人に「そうじゃ消防署カレー」1個と「そ うじゃ小学校ライスカレー」2個、「そうじゃ赤米がゆ」1個 をセットで贈ります。いただいた意見などに対して、担当課 から連絡することがあります。

【応募期限】 2月28日(水 【12月号の答え】 総社(賞) 【12月号の当選者】 岡本政美さん(富原)、光田龍五さん(西郡)

[応募総数 19 件]

【応募先】 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所市政情 報課☑ shisei@city.soja.okayama.jp

人口・世帯数(平成 30 年 1 月 1 日現在)

人口 68,579 人(前月比-7人)

を強く感じることができま

(うち外国人登録1168人 前月比-1人) 男 33,356 人 (前月比-6人)

女 35,223 人(前月比-1人)

世帯数 27,060 世帯(前月比+32 世帯)

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化には ぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつ くることにつとめます。

1 郷土を大切に

美しい環境をまもりましょう。

1 生涯学び

明るい家庭をきずきましょう。

1 たがいに助け合い

あたたかいまちを つくりましょう。

市の花・木

◎市の花 / れんげ ◎市の木 / もみじ ◎市の鳥 / タンチョウ

19 広報そうじゃ 2018. 2 広報そうじゃ 2018. 2 18